

授業作り	重 点	一人ひとりが伝えたいと思いや考えをもち、表現する力を伸ばせるよう、課題を的確にとらえ、主体的に考えることができるよう工夫する。
環境作り		多様な交流の場を設定し、相互評価等、児童相互が良さを認め合い高め合う活動を工夫し、支持的風土を醸成する。

■ 学年の取組（年度末評価結果：本年度の目標及び取組についての成果と課題）について

学 年	本年度の成果と課題 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年	<p>【国語】</p> <p>○繰り返しの文字練習（ひらがな・カタカナ・漢字）を通し、丁寧に書く力や基本的な力の定着が図れた。</p> <p>○年間を通じた音読の活動や宿題を通して、文として文字を読む力が向上した。</p> <p>●文章から適切に筆者の考えや登場人物の行動や気持ちを読み取ることには個人差が見られる。叙述をもとに考えを書く活動を繰り返し、経験を積んでいく必要がある。</p> <p>【算数】</p> <p>○数の構成、基礎計算は繰り返しの練習によって、理解が深まった。</p> <p>○計算の仕方や式の意味を自分の考えとして表すことを繰り返したことで、相手に考えを説明する力が向上した。</p> <p>●文章題では問題の読み取りが正確にできておらず、立式を間違える児童がまだ見られる。文章を読み取る力を育てるとともに、問題の意味を理解できるよう、繰り返し取り組ませていく必要がある。</p>	<p>・姿勢や口形、発声、発音に注意して話すこと。</p> <p>・字形に気を付けて、文字を丁寧に書くこと。</p> <p><u>□語と語や文と文の続き方に注意しながら書き表すこと。</u></p> <p><u>□場面の様子や言葉の響きなど内容の大体を捉えること。</u></p> <p>・10の補数がすぐに分かるようになること。</p> <p><u>□問題をよく読み、課題を正しく捉えること。</u></p> <p><u>□自分の考えを相手に分かるように説明しようとすること。</u></p>	<p>①音読するときの姿勢図を活用した指導</p> <p>②母音の口形、発音、発声の反復練習</p> <p>③鉛筆の持ち方や姿勢の声かけと、平仮名の手本を活用した指導</p> <p>④具体物や半具体物を用いた操作活動の計画的設定</p> <p>⑤日記の取り組みを通して日常的に文章を書くことで、自分の思いを文章に書くことに慣れさせる。</p> <p>⑥文章にサイドラインを引き、自分の考えをもたせ、交流活動を行う。</p> <p>⑦わかっていることや聞かれていることに線を引くなどし、課題を確かめながら問題を解く。</p> <p>⑧絵や図、言葉や式を用いて自分の考えを表したり、説明しあったりする機会を多くもつ。</p>
2 学 年	<p>【国語】</p> <p>○新宿区学力調査では、教科総合、基礎、応用共に、区平均を上回った。</p> <p>○短時間で、聞く態勢を整えられるようになり、大事なことを聞き取る力が伸びた。</p> <p>○漢字を丁寧に書く力は全体的に伸び</p>	<p>・集中して話を聞き、大事なことを聞き取ること。</p> <p>・教材文を読み取り、自分の考えをもち、相手に分かるように書いたり話したりして表現すること。</p>	<p><u>①聞く態勢を整える指導</u></p> <p>②聞き取る際のポイント明示</p> <p>③課題を正しく捉えるための板書提示</p> <p>④自分の考えをもたせるための考える時間の確保</p> <p>⑤抵抗なく自分の考えを表出する機会を増やすための学習形態の工夫</p>

	<p>た。</p> <p>○注目した言葉にサイドラインを引きながら、そこから自分の考えたことを書いたり、話したりできるようになった。</p> <p>●必要な情報を読み取って、文章化する力には個人差が見られる。新宿区学力調査においても、二極化傾向にある。問われていることを主観を交えずに捉え、主語、述語に気を付けて書けるよう指導することが必要である。</p> <p>【算数】</p> <p>○授業では、自分の考えを式や言葉、図で説明することができる児童が増えた。</p> <p>○加法、減法、乗法の計算が、速く正確にできるようになってきた。</p> <p>●新宿区学力調査では、教科平均、基礎、応用共に、目標値は上回っているものの区平均を下回った。特に、数と計算領域では、3.8ポイント下回っており、加法、減法の筆算や、文章を読み立式することにおいて、さらに習熟が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場に応じた声の大きさで、相手に分かるように内容を整理して話すこと。 ・課題に沿った文章を書き、書いた文章を読み返し、修正すること。 ・字形に気を付けて、文字を丁寧に書くこと。 ・計算の意味を考え、正確に速く計算すること。 ・問題場面を正しく理解し、立式すること。 ・相手に分かるように、解き方を説明すること。 	<p>⑥朝のスピーチ活動による、「話す・聞く」練習</p> <p>□暗唱教材による、声を出さず練習</p> <p>⑦書く際の文章ひな型の提示</p> <p>⑧日記指導による書く機会の設定</p> <p>⑨書いた文章を修正するためのポイント提示</p> <p>⑩「はね」「止め」「はらい」等に注目させ、丁寧に書かせるための繰り返しの漢字指導</p> <p>⑪計算の意味を理解させるための半具体物操作の活用</p> <p>⑫計算習熟のための、紙ドリル及びデジタルドリルの活用</p> <p>⑬「分かっていること」「聞かれていること」に線を引かせたり、図に表したりする立式の指導。</p> <p>⑭自分の考えを、式や言葉、図で説明する機会の設定と、その後、「は・か・せ」（速く、簡単で、正確な）の解き方の指導及び説明のひな型提示</p>
<p>3 学 年</p>	<p>【国語】</p> <p>○新宿区学力調査では、教科総合、基礎、応用共に、全国平均・区平均を上回った。</p> <p>○漢字を丁寧に書く力は全体的に伸びた。</p> <p>○注目した言葉にサイドラインを引きながら、そこから自分の考えたことを書いたり、話したりできるようになった。</p> <p>○自分の感想や考えを豊かな言葉でまとめられるようになった。</p> <p>●大事なことを意識して話を聞くことに課題がある児童がいる。</p> <p>【算数】</p> <p>○新宿区学力調査の結果では、教科総合、基礎、応用どれも全国平均も区平均も上回った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最後まで話の内容を正確に、具体的に聞き取ること。 ・考えた内容を、相手に伝える言葉にして表現し、伝えること。 ・文中の言葉から分かることを想像して読むこと。 ・文字の特徴を捉えて正しく丁寧に書くこと。 ・既習の漢字、拗音・促音、カタカナ、「」、句読点の使用を身に付けること。 ・基本的な計算問題を正確に解くこと。 ・繰り上がり、繰り下がりのある問題について正しく計算すること。 ・長さやかさの単位換算や量感を習得すること。 ・かけ算九九の定着、問題の意味を捉えて立式すること。 ・文章問題について、問われている内容を正確に捉え、問題を解くこと。 	<p>①話し方と聞き方の日常指導</p> <p>②隣同士や小グループなどでの話し合い活動の設定</p> <p>③一人読みの時間の確保</p> <p>④読みの視点やサイドラインの引き方の提示</p> <p>⑤朝学習や家庭学習でのドリル学習</p> <p>⑥デジタル教科書や模型等を活用した数量感覚の育成</p> <p>⑦数直線、式、言葉、図などを用いて考えを説明する機会の設定</p>

	<p>○東京ベーシックドリルによって苦手部分を中心に取り組んだことで、基礎計算力が上がった。</p> <p>●コンパスや三角定規などを用いた図形の問題や作図に関しては課題が残る。宿題等で取り組む機会を定期的に設け、器具の操作に慣れる必要がある。</p>		
<p>4 学 年</p>	<p>【国語】</p> <p>○新宿区学力調査の結果では、教科総合、基礎、応用共に区・全国の平均正答率を上回り、教科総合は9.6ポイント、基礎は8ポイント、応用は16.4ポイント上回っていた。</p> <p>○物語文の学習の際、読む視点を明確にしたり、叙述に着目したりしたことで、登場人物の気持ちや場面の移り変わりを読み取る力がついた。</p> <p>●全体の平均値は上がっているが、学力の高い児童と低い児童との差があり、低い児童は記述式を苦手と感じている。</p> <p>●学力の低い児童は、初めて読む文章を読み取る力が低いため、物語文や説明文の学習を通して、読む力をつけていく必要がある。</p> <p>【算数】</p> <p>○新宿区学力調査の結果から昨年度と比べて、成績上位層が11.7ポイント増加している。</p> <p>○応用問題が全国平均よりも12.8ポイント上回っている。年度当初は苦手としている児童が多かったが、東京ベーシック等で復習の時間を確保したことで成果があらわれたと考える。</p> <p>●学力下位層の児童は、文章題や平面図形の問題を苦手と感じているので、学習タイムを中心に東京ベーシック等で復習していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を考えて、必要な内容を正確に読み取り、根拠を明確にして自分の考えをもち、表現を工夫すること。 ・内容の中心やまとまりを考えて内容を整理し、考えとその理由・事例を明確にして文章にまとめること。 ・文の構造をとらえることや語彙を広げること。 ・繰り上がりや繰り下がりがある、桁数が多い等、多様な四則計算について、正確に速く計算できる技能を身に付けること。 ・数の関係を捉えて式で表現することや式や図を使って自分の考えを表現すること。 ・コンパスや三角定規、分度器等を、目的に応じて正確に使用すること。 	<p>①サイドラインの引き方指導と読む視点を明確な提示</p> <p>②文章の例の提示や、効果的なワークシートの活用</p> <p>③読書、辞典、辞書、タブレットを活用</p> <p>④家庭学習による継続的な計算練習・デジタルドリルの活用</p> <p>⑤視覚的な資料を活用した指導及びデジタルコンテンツの活用</p> <p>⑥コンパスや分度器などの道具使用慣れ</p> <p>□授業の終末に時間を確保し、習熟を図る。</p>
	<p>【国語】</p> <p>○新宿区学力調査の結果では、教科総合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図を考えて、内容を正確に読み取り、根拠を明確にして自分の考えをもつこと。 	<p>①選択肢の設定と選択の根拠や理由を明確にする指導</p>

<p>5 学 年</p>	<p>合、基礎、応用共に区・全国の平均正答率をわずかながら上回っていた。特にC層からB層への増加が著しかった。</p> <p>○一人読みの時間を充分にとることで、読み取るとともに、自分の読みを深める力が付いた。</p> <p>●全体の平均値は上がっているが、学力の高い児童と低い児童との差があり、低い児童は記述式を苦手と感じている。</p> <p>●特に、漢字を中心とした、基礎的な知識・技能面を苦手としている。</p> <p>【算数】</p> <p>○基礎的な数や計算のきまりについては定着している児童が増えた。また、式・図・文などを用いて説明する習慣がついている。</p> <p>●学力の高い児童と低い児童との差が大きく、低い児童は分数や小数など、基本的な計算にも苦手意識があるため、復習していく必要がある。</p>	<p>・主述や修飾被修飾の関係、一文の長さや文章構成などを意識し、自分の考えを筋道立てて説明したり、意味の通る文章にまとめたりすること。</p> <p>・自分の書いた文章を読み返し、推敲すること。</p> <p>・友達との交流を通して共通点や相違点に気付くことで、自分の考えを深めること。</p> <p>・繰り上がりや繰り下がりのある計算、わり算やかけ算の筆算、小数の計算などの問題を正確に解けること。</p> <p>・コンパスや分度器を用いて正確に作図ができること。</p> <p>・式、図、文などを用いて自分の考えを筋道立てて説明すること。</p>	<p>②相手意識を明確にもつための指導</p> <p>③正しく書くためのポイント指導と、読み直す習慣をつけるための時間の設定</p> <p><u>□自分の考えをもてるよう、一人で考えたり調べたりする時間を十分に確保する。</u></p> <p>④交流して気づいた共通点や相違点を全体共有する場の設定</p> <p>⑤意見を比較・分類・関連付ける板書の工夫</p> <p>⑥プリントやデジタルドリル問題を活用した反復練習する機会の設定</p> <p>⑦作図する機会の意図の設定</p> <p>⑧作図の際の細部の正確さを促す指導</p> <p><u>⑨思考場面での個の思考時間、グループや全体での共有時間の確実な設定</u></p>
<p>6 学 年</p>	<p>【国語】</p> <p>○新宿区学力調査では、教科総合、基礎共に区の平均正答率を上回り、問題の難易度はあるが、5年時より10ポイント向上した。</p> <p>○読むことの学習で、サイドライン等を確実に言い、言葉に着目し、理解したり想像したりすることを徹底したことで読む力を伸ばすことができた。</p> <p>●書くことが区の平均を下回り、また、応用もわずかではあるが下回っている。</p> <p>●基礎的・基本的な内容を、生活場面や作品作り等で生かす場面を設定し、活用できる力として定着させる必要がある。</p> <p>●構成や表現の工夫等の学習を充実させるとともに、主述の呼応等、基本的な文型を身に付けていく必要がある。</p> <p>【算数】</p>	<p>・内容を正確に読み取り、情景や心情の変化を捉えること。</p> <p>・友達との交流を通して共通点や相違点に気づき、自分の考えを深めること。</p> <p>・既習漢字を身に付け、活用すること。</p> <p>・小数のかけ算・わり算などの計算を正確にすること。</p> <p>・分数の意味を理解し、計算を正確にすること。</p> <p>・コンパスや分度器を用いて正確に作図ができること。</p>	<p>①サイドラインや微音読等の設定</p> <p><u>□叙述を根拠に自分の考えをもつための一人読みの時間の確保</u></p> <p>②小集団による話し合い活動の設定と思考ツールの活用 (ホワイトボードミーティング)</p> <p>③家庭学習による継続的な漢字練習と「音・形・意」を学ぶ漢字学習の設定</p> <p>④デジタルドリルの活用による習熟</p> <p>⑤視覚的な資料を活用した指導及びデジタルドリルの活用</p> <p>⑥コンパスや分度器などの道具の使用の慣れ</p> <p><u>□思考に裏付けられた知識を獲得するための思考場面の設定</u></p>

	<p>○新宿区学力調査では、教科総合、基礎、応用すべてで、区の平均正答率を上回り、5年時より10ポイント上回った。</p> <p>○計算練習や復習の時間を年間通して確保したことで、基礎的な学力の向上を図ることができた。</p> <p>●問題を的確に捉え、知識獲得までの思考を多面的に思考できる力をさらに高めていくことが必要である。</p> <p>●問題に粘り強く向かい、試行錯誤する意欲や態度を高めることが求められる。</p>		
<p>特別支援</p>	<p>【国語】</p> <p>○音読することにより、物語全体をおおむね理解することができた。</p> <p>●思いを言葉で表現することができるように、書く指導が必要である。</p> <p>【算数】</p> <p>○基礎的な計算を繰り返し行うことで、意欲的に取り組むことができた。</p> <p>●何を問われているか、問題の意図を理解することが必要である。</p>	<p>・大切なところを意識して、内容を正確に読み取り、根拠を明確にして自分の考えをもてるようにすること。</p> <p>・基礎計算を正確にできるようにすること。</p> <p>・実生活と結び付けたり、見当をつけたりして、数量の感覚を身に付けられるようにすること。</p>	<p>①サイドラインの指導</p> <p><u>□音読の時間の確保</u></p> <p>②学習の手順を意識化するための指導</p> <p><u>□手順を定着するための個の思考時間の確保と共有場面の確保</u></p> <p>③生活に使用する具体物の提示</p> <p><u>□具体物を操作する時間の確保</u></p>